

2024年5月31日

子ども学科

久留島 彩織

ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任

2023年度の担当科目一覧表

科目区分 (教養／専門／教職)	科目名	種別 (必修／選択)	開講時期	受講者数
専門	子どもの体育	選択	前期	32
専門	リズム・ダンス表現	必修	前期	39
専門	幼児と健康	選択	後期	39
専門	ゼミナール1	必修	前期	5
専門	ゼミナール2	必修	後期	5
専門	ヘルスケアマネジメント	選択	後期	10
教養	生涯体育理論と実践1	選択	前期	79
教養	生涯体育理論と実践2	選択	後期	61
教養	社会人入門1	必修	前期	32
教養	社会人入門2	必修	後期	32

*科目区分：「教養」、「専門」、「教職」の3つから指定すること。

*種別：「必修」、「選択」の2つから指定すること。なお、選択必修は「選択」とする。

2. 教育の理念

「身体を動かすことや身体を通して表現することの楽しさを知っており、心身ともに豊かである保育者の育成」や「運動遊び、身体表現を通して子どもたちの体力・運動能力の向上、それに伴う心の育ち、健康の増進を目指す保育者の育成」を教育の理念としている。

また、学生には「保育者は人間形成において重要な乳幼児時期に関わる大切な役割を担っていること」を常に伝えるようにしている。

「生涯体育」では生涯を通しスポーツに親しむことや、自身の身体と向き合い健康的な生活を送ることの重要性を理解し、運動の生活化を実践してもらうことを目標としている。

3. 教育の方法

専門科目である「子どもの体育」や「リズム・ダンス表現」「幼児と健康」では、実践力を身に付けることを意識しており、授業時間内はより多く実践、体験してもらうことが重要だと考えている。まずは運動遊びの楽しさと重要性を学生に学んでもらえるよう、自身も学生と一緒に身体を動かし自らの身体をとおし運動の楽しさを伝えることを心がけている。ただし、実技のみで終わることのないよう理論と実技を行き来するような授業展開にしている。

さらに地域交流や地域貢献も学生の実践力向上の場として重要だと考えており、「ゼミナール」ではそのような機会を多く持つようにした。

また、グループワークを何度も取り入れ、他者の多様な考えに触れ自分の理解を深めることや、他者との協働の中で得られる学びを目指してきた。

授業終盤には、毎時間、振り返りシートを記入してもらい、コメントをつけ返却した。特に有

用だと思われる感想、意見については、翌週の授業で全体に向け紹介するようにしている。質問についても、個別または全体に向け回答した。

4. 教育の成果

授業評価アンケートからは、おおむねわかりやすい授業であり、満足しているとの評価が多かった。専門科目では、「現場や実習で実践したい」「子どもと遊んでみたい」といったコメントも多く見られ、現場ですぐに実践できるものを意識して取り上げるようにしたことや自身も一緒に身体を動かし熱意を持って伝えてきたことが、評価に繋がったと考えている。また、いずれの科目においても「楽しかった」というコメントが多くあったが、特に2年生の振り返りシートからは「楽しい」の先にある、子どもの発育発達や子どもの姿にまでよく目が向けられており、保育者として学びが深まっていく様子がうかがえた。

「生涯体育」では授業評価アンケートのコメント等から、生涯をとおした運動の重要性についてよく理解してもらえたと考えている。

5. 今後の目標

実技をして「楽しかった」で終わるのではなく、「その楽しさをどのように子どもたちに伝えていくのか」、「保護者にはどのようにして運動遊びの重要性を伝えるのか」などを教員と学生、または学生同士で共に考える時間を多く持てるような授業展開を検討していきたい。さらに、子どもを取り巻く環境の変化から、保育者には保育現場において運動機会を積極的に創出することが求められている。そのような現状も授業内で取り上げ議論していくなど、実技の先にあるより深い学びを見据え指導していきたい。それらがまさに、保育者としての「実践力」に繋がると考えている。

また特に「リズム・ダンス表現」ではi Padを積極的に使用するなど、ICT教育にも力を入れていきたい。

今後も学生と一緒に動きながら授業を展開できるよう、自身も体力を維持することや公開講座等で子どもたちの前に立ち続けるなど実践力、教育指導力の向上に努めたいと考える。

さらに少人数授業であることを活かし、学生ひとりひとりが持つ強みや能力を伸ばしていくよう、それぞれに合ったより丁寧な教育指導をしていきたい。

6. 根拠資料

- シラバス
- 授業資料
- 授業評価アンケート結果
- 授業改善計画書
- 「リズム・ダンス表現」成果発表会 映像